

令和3年度
第4回 球磨川水系学識者懇談会
説明資料

球磨川水系学識者懇談会について

令和4年3月28日

国土交通省 九州地方整備局
八代河川国道事務所
熊本県 土木部 河川港湾局
河川課

河川整備基本方針と河川整備計画の概要

■平成9年に河川法が改正され、「河川整備基本方針(長期的な河川整備の方針)」と「河川整備計画(当面の具体的な整備の計画)」を策定することとなった。

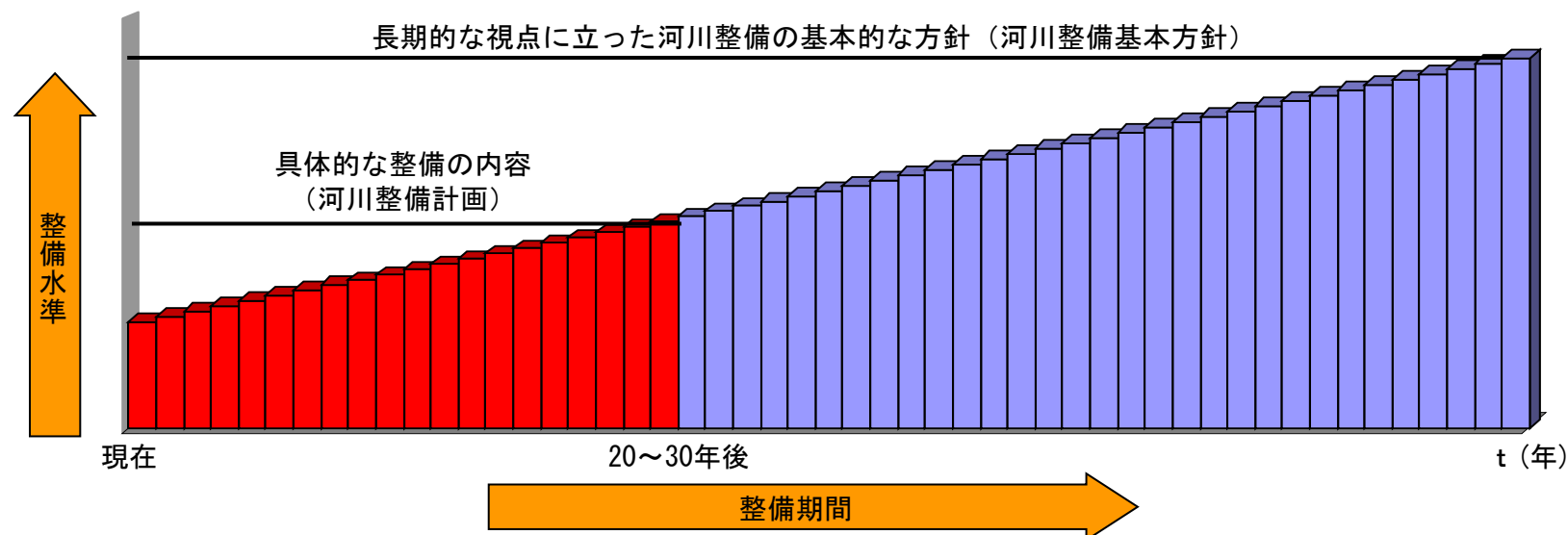
河川整備基本方針

- ①河川の総合的な保全と利用に関する基本方針
長期的な視点に立った河川整備に関する基本方針を決定。
- ②河川工事の実施の基本となるべき計画に関する事項
個別事業など具体的な河川整備の内容を定めず、整備の考え方を記述。

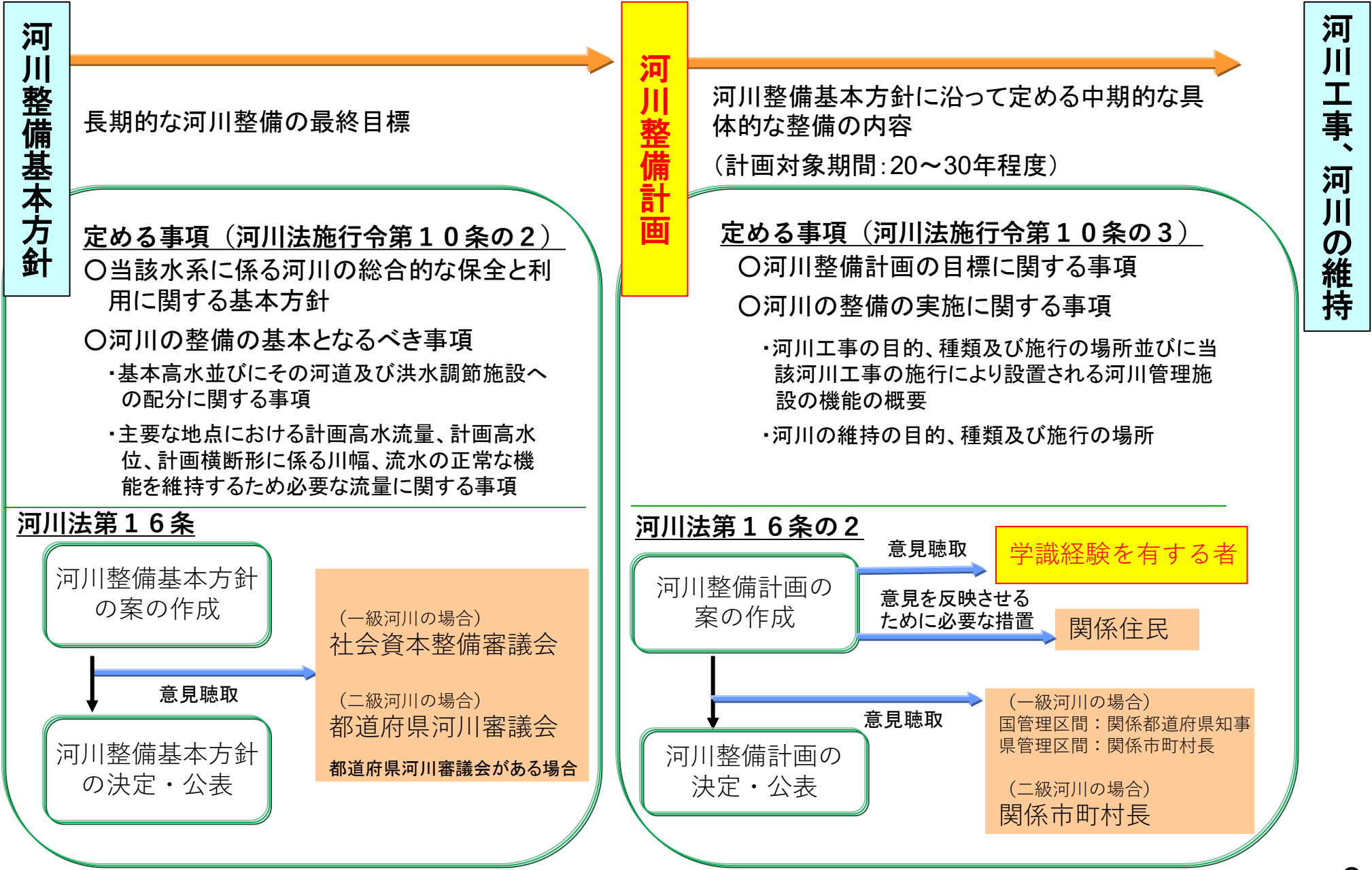
河川整備計画

- ①河川整備の目標
20～30年後の河川整備の目標を明確にする。
- ②河川整備の実施に関する事項
個別事業を含む具体的な河川の整備の内容を明らかにする。

河川整備計画における段階的な整備にあたっての目標イメージ図



河川整備基本方針と河川整備計画の概要



球磨川水系河川整備計画の策定について

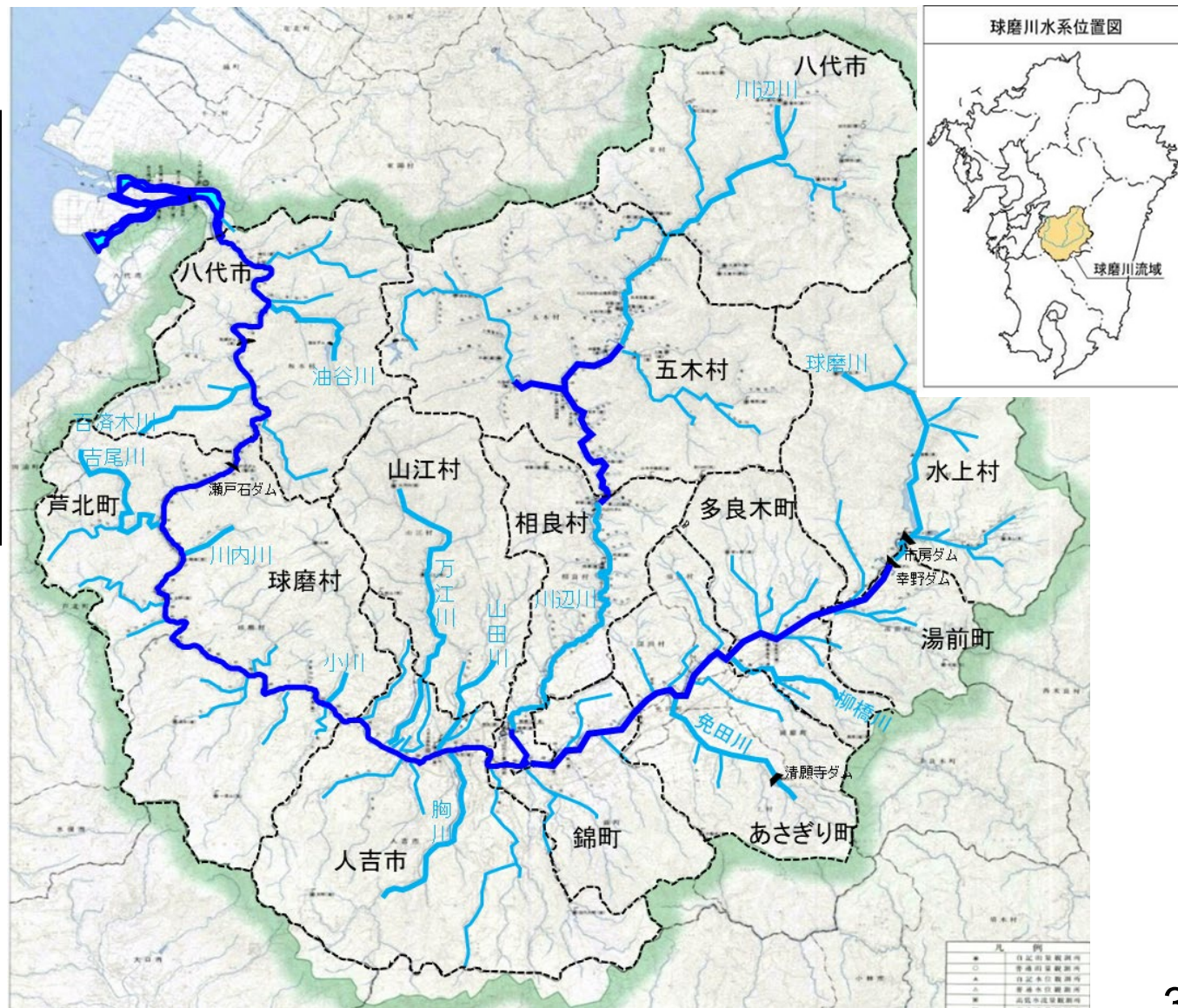
○策定する河川整備計画は、『球磨川水系河川整備計画(国管理区間)』及び『球磨川水系河川整備計画(熊本県管理区間)』を予定。

球磨川水系河川整備計画
(国管理区間)

【国土交通省が策定】

球磨川水系河川整備計画
(熊本県管理区間)

【熊本県が策定】

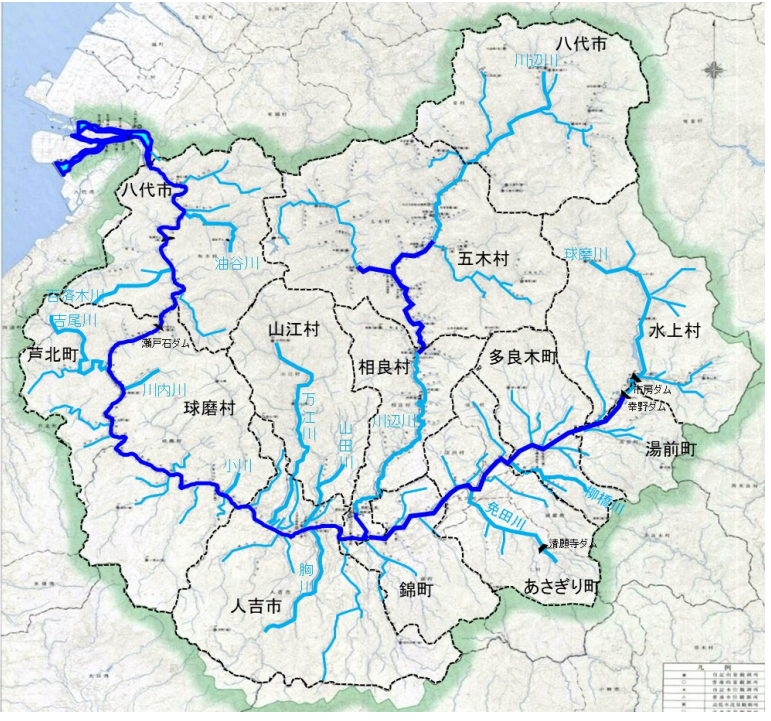


球磨川水系河川整備計画における本川・支川の関係について

- 本川は、流入する多くの支川と密接に関係しており、支川からの流出量が本川の流量の変化につながる。
- 支川は、流入する小流域(山地や谷等)と密接に関係するとともに、本川への合流部では本川の水位等の影響を受ける。
- 本支川の河川整備にあたっては、これらの治水上の関係や自然環境の連続性等を考慮した上で、よりよい河川整備となるように、**河川整備計画の策定段階から本・支川の連携**を図る。

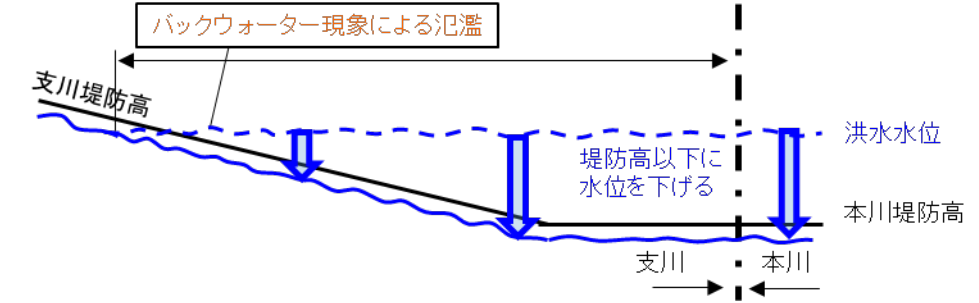
■球磨川本川・支川の位置図

- ・本川の流量は、球磨川に流入する多くの支川の流出量(土砂・流木等を含む)が関係している。
- ・支川の流量は、流入する小流域からの流出量が関係している。



■本支川合流部の水位低下の模式図

- ・本支川合流部では、本川の水位状況が支川の水位等に影響する。



■環境面

- ①本川と支川との環境の連続性が確保されることで、遡上・降下を行う回遊性の魚類等の生息・生育・繁殖環境が向上する。
- ②支川から、土砂や栄養塩類等が適正に供給されることで、河床の砂礫層や健全な生態系が維持される。



生物や土砂の連続性の確保(H18国土交通白書より)